

だ み よ く り に

No.754 令和6年10月1日発行



「今いちばんたいせつなこと」

自分の目にうつっているものが「どこ」で起こっていることなのかによって感じることは全く違いますね。先日それを体感する出来事がありました。とある場所のベンチに3人が座っていました。真ん中に泣いている少年、その左右には父親らしき人とお姉さんらしき人が少年へまなざしを向けていました。その場所は病院前のベンチ。何気ない風景の一場面かと思いきや、いや、病院前……ふと涙の理由がいくつも想像され、一人しんみりとしてしまいました。

きっとここがまた別の場所であれば、ここまで心に留めもせず風景として過ぎていったことでしょう。どこで流れている涙なのかによって、こうも想像をより現実的なものにするのですね。少年の涙の理由を想像しつつ、改めて、健康であることの尊さ、家族の大切さ、人との関わりの温かさを痛感しました。皆さん、今月も健康にお過ごしください。子育て、家事、お仕事、お勉強、療養、介護……大変な毎日本当にお疲れ様です。

「想像」というと、保育においてもとても重要なものです。こども園の教育や保育内容が示されている教育・保育要領にも、例えば、「協同性」を育もうと掲げられています。想像はそこにも該当します。「協同性」……相手にわかるように伝えたり、相手の気持ちを察して自分の思いの出し方を考えたり、我慢したり、気持ちを切り替えたりしながら、わかりあう。これを子どもたちに育むことがわたしたち大人の役割だと示されています。

す。であれば、子どもに手本を示すわたしたち大人がすべきことは、明確です。わたし自身大きなことを言えるようなものではありませんので、書くことで自分を律することとします。

さて、運動会まであと数日です。子どもたちが本番を迎えるまでには数週間という過程があったこと、0から作り上げてきたこと、そして本番はいつもと違う環境で大勢の方に見られていること、子どもたちのこのような気持ちや状況を想像し、どうか一人ひとりを温かく見守っていただければと思います。当日校庭に入れたら、まずはそれだけでも花丸です。一人ひとりの参加のあり方で、一人ひとりらしく自分を発揮できますよう、職員一同心をこめて開催いたします。そして、4年振りに観覧人数制限をもうけずに行った昨年の運動会。保護者の方の譲り合いのもと良い雰囲気でも成り立っていた過去のみくに学園の運動会が戻った、と感じたのをよく覚えています。今年もどうぞご協力ください。特に観覧、撮影の際は、その学年の保護者の方を優先し、誰もが安全に、気持ちよく観覧できますよう心よりお願い申し上げます。

「ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは目に見えない」。有名な小説「星の王子さま」に出てくる言葉です。言うは易く行うは難しと言いますが、有言実行してまいります。今月もよろしく願いいたします。